



杉並清掃工場の特徴

地域環境との調和

工場敷地北東部及び西側に人工地盤を設け、敷地を一周できるウォーキングロードとして、緑地も含めて整備します。

工場棟の高さは旧清掃工場の高さより低くし、建物の外観は周辺環境と調和したデザインや積極的な緑化を図る計画とします。

地球温暖化の防止

従来よりも効率の高い廃棄物発電設備の導入による発電電力量の増加及びLED照明・インバータ化等による消費電力量の低減などの省エネルギー化に努め、CO₂排出量の削減に取り組みます。

自然エネルギーの利用

太陽光発電パネルの設置など自然光を積極的に利用するほかに、地中熱を利用した空調設備を導入します。

緑化

1

地域との調和を図り、武蔵野の自然をイメージしながら地域の人々の憩いの場となる緑化を目指します。

景観

2

工場棟と道路との距離を確保し、建物形状を階段上にする事で圧迫感の低減を図ります。また、外壁面を積極的に緑化することで、周辺の緑と一体化した景観を形成します。

自然エネルギー

3

再生可能エネルギーである太陽光を利用した発電を行うなど、環境に配慮した計画とします。

